



秋草学園秋桜会報

21

号

発行 秋草学園短期大学校友会(秋桜会) 住所 〒359-1112 所沢市泉町1789

平成23年5月25日 第

直通TEL&FAX 04-2925-1300

いあいさつ

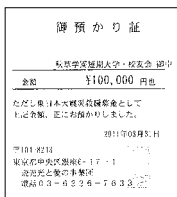
秋桜会

会長 木村 道子



全国の秋桜会会員の皆様にはお元氣にお過ごしでしょうか。本年三月十一日、東北地方を中心に関東地方にも及ぶマグニチュード9.0と言う大地震が発生し、これに続き防波堤を乗り越えた大津波が三陸沿岸の町や村をのみ込み大災害となりました。この津波を被った原子力発電所の事故故により地域住民は避難を余儀なくされ、今尚、避難所の日々を過ごされています。大自然の猛威の前で人間の非力さを再認識致します。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。この大震災に対し、国内外を問わず力強く温かな支援の輪が広がり復旧を目指しております。この様な中で被災地の人々の節度ある行動は世界の人々の大切さを実感致します。秋桜会も早速新聞社を通じて「義援金」をお送り致しましたが、一日も早い復興を祈り、一人ひとり、今、何が出来るかを考え実践していかなくてはと思います。思い起こせ

東日本大震災により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。



ば昨夏は各地記録的な猛暑で、秋日和は続かず、酷寒雪害の報にも心痛みました。また火山灰被害など自然災害が続いております。四季折々の美しい日本列島は今危機感に充ちております。この様な時こそ風評に惑わされず、冷静な生活者としての目を失わず女性としての慈愛と連携の心をもたなければと思います。大自然の猛威に曝され被災された地域の皆様には一日も早く平穩の日常に戻られますようお願い申し上げます。この厳しい日々の中にも、自然は営みを続け、木々は芽吹き蓄は膨らみ開花し春の到来を教えてくれます。この春、秋桜会はご卒業された三八九名の方々を新会員としてお迎え致しました。誠に同慶の至りでございます。母校のご発展に感謝し、今後益々のご繁栄をご祈念申し上げます。新会員の皆様には、常に秋草精神を忘れずご自身に誇りを持って活躍され、社会貢献されます様願っております。末筆ながら全国会員の皆様には厳しい昨今ながら、再会を約し、優しさと強さを心の糧に前向きにお過ごし下さいます様お祈り申し上げます。

いあいさつ

秋草学園秋桜会名誉会長

秋草学園短期大学学長

深澤 郁喜



校友会の皆さまには、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。いつも学園並びに本学に対し、格別のご支援、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

昨今は、大学に対する世間の目が日増しに厳しくなり、大学は、学生のモラトリアムでは許されなくなり、どんな研究業績を上げたか、どんな学習成果を挙げているか、どれだけ社会貢献を果たしているかを利害関係者に分かりやすく開示しなければならなくなりました。本学では、文化表現学科と地域保育学科、2学科の教育内容を高校生にとつて、より魅力のあるものにするようになりました。

文化表現学科では、従来の国文、情報、漫画などの分野に加えて、高校生が関心を持つ卒業後の進路に合わせて、ホスピタリティ、観光ツーリズム、ファッション、イベント、ブライダルなどの分野を取り入れ、それらの関連科目を二〇一一年度から、開設すること

にいたしました。

一方、地域保育学科では、公務員に志望の高校生が増えてきていることに鑑み、公立保育園就職を目指す学生支援講座の開設や志望者との面談を通じて学科の特色を理解してもらえ、AO入試に限定した特待枠などを設ける外、グローバル時代に対応する海外研修の導入など新しい試みを二〇二二年度から始めることになりました。

校友の皆さまには、日頃のお仕事の中で、重視されるようになってきたこと、これから身につけた専門知識や技術、推奨したい教育方法などがありましたら、是非本学にご教示ください。それらに対応した本学のリカレント教育や後輩の教育ができるようになり、それが本学教育の特色となり、「秋草ブランド」の立ち上げにつながられましたら更なる幸いでございます。また、本学が皆さまのお役に立てることがございましたらお申し付けください。

校友の皆さまの益々のご健勝、ご活躍と校友会の愈々のご発展とを、心からお祈り申し上げます。

学園の情報はホームページをご覧ください。校友会のページもあります。
<http://www.akikusa.ac.jp/>



校章に寄せる想い

秋桜会特別顧問

学園長 秋草 かつえ



古い記憶の中から桔梗の紫色に魅せられた想いを手繰り寄せると、今でもはつきりと当時の出来事が目に浮かんできます。と申しますのも太平洋戦争の最中に私の兄は満州に出兵しておりました。その兄が満州で負傷したという連絡が真冬に届き、母は毎日村の鎮守様でお百度を踏み水をかぶり、兄の無事を祈願しておりました。

私は母に内緒で満州に赤十字の看護士として行くという少々乱暴な方法を考えて、母にその旨を話しました。その時、母は私の決意が強いことを知り、どうしても行くのならこれを携えていきなさい、といわれて手渡されたのが紫のちりめんの袱紗に包まれた守り刀だったのです。結局、叔父の猛反対で満州へは行くことが出来ませんでした。が、いつの間にか私の念願成就へのイメージと重なり紫の想い

へと変わったと思います。

中国では紫は高貴な色として、重宝されていると聞き及んでおります。振り返ると、この高貴な紫の色に守られて生徒と学生は学園とともに成長したとしか思えません。

秋の七草の桔梗の紫とイメージが重なり校章となったのは言うまでもありません。桔梗は、古来から多くの人々に愛され、万葉集や歳時記などの名歌・名句の中に数多くうたわれています。万葉集の中に読まれている朝顔が現代の桔梗のことです。

すがすがしい青紫、端正な輪郭をもち清楚にして気品を示す美しさは、たんに美しいだけではなく、その中にひとすじの強さを備えております。優しさの中にも、き然とした強さをも内包する女性に成長してほしいという願いを込めて、この桔梗を校章としました。

学校を創ろうと強く決意した時を顧みますと、昭和二十四年、太平洋戦争の傷跡のまだ生々しい頃でございました。私の心を打ちましたのは、国土の荒廃にも増して、荒れた人々の心でございました。この心の荒廃を癒し、日本再建の一翼を担うのは女性である、心の優しき女性、よき妻、よき母が今日ほど求められる時はない、そんな

女性づくりに微力を尽くしてみようと思いついたのでした。そして、秋草学園が誕生したのでございます。それから六十年を超え、今日では、ご存知のように幼児教育学科、地域保育学科、文化表現学科、の三学科を持つ短期大学・女子普通科の高等学校・福祉の専門学校と平成十九年度から保育園が加わった次第であります。

ともすれば今の社会は、知識、技能にばかり視点が寄せられているようにも思われます。しかし、長い目で人の人生を見つめて見ますと、人格的に優れた人がしあわせのようです。情操の涵養という名の、愛を感じる心を育てることは、そうした優れた人格形成の第一歩でありましょう。

ご家族も、そして学校も、礼節、勤勉、協調を基盤として、「愛され信頼される女性」の育成に向って、最大の努力を続けたいものと考えます。



秋草学園同窓会に参加して

福永 千恵子

(昭和四十七年卒)

思い切って参加した同窓会。当時お世話になりました先生方にもお会いでき嬉しさと懐かしさで心が弾む思いでした。素晴らしい式典に感動致しました。還暦を迎えました私の人生での幹はやはり「秋草かつえ先生の月曜講話」であると確信しております。学びを通してどんな時でも子どもたちの幸せを願う



て私自身安心して歩んでおります。おかげ様で自分なりに納得できる根っこを伸ばしながら、現役生活を楽しんでおります。当時のノートは今でも新人保育士の研修や子育てに悩んでいるお母様方への知恵袋として時々登場しております。

私にとってノートは生涯の指針であり、大切な宝物でございます。

新潟と一緒に働きたい保育士さん大歓迎いたします。秋桜会と月曜講話に感謝。

*

押山 信子

(昭和五十三年度卒)

同窓会を楽しみに栃木から来ました。第一回も出席したので、この同窓会が長く続くことを願っています。年代の違う人達ともお話が出来楽しい一日が過ぎました。



大音くに子 (旧姓有村)

四十九年度保育科を卒業し、練馬の幼稚園勤務の後、結婚の為、故郷の鹿兒島へ帰りました。あれから、三十数年時が過ぎ、百一歳の義母を自宅介護、嫁としての努めを終え、ようやく同窓会出席の為の上京となりました。

かつえ先生にお会い出来ること楽しみにしていたのですが、ご体調不良との事で残念でした。

それでも、若い後輩の皆様が生きてきた目の輝きに圧倒させられました。

秋桜会長木村さんとは同期であり色々な面で活躍され、同期生として大変嬉しく思っています。また彼女を含め、私の宝物である素晴らしい仲間との出会いも、秋草学園生活無しでは得る事が出来なかつた事でしょう。涙、涙の再会となりました。現在、私は、絵画等趣味を楽しんでいます。

いつの日か、又再会出来る日を楽しみに、益々の秋草学園のご発展と秋桜会の御活躍をお祈り致します。



会員だより

昭和五十一年度卒 M・Y

秋草学園の前身中野の上高田で秋草かつえ先生との出会いから、私は手芸に打ち込み現在まで生活の要になっております。学園が大きく発展したことが現在私の誇りになっております。

昭和五十三年度卒 S・M

転勤を重ねながら、保育士として勤続三十年以上になりました。

昭和五十三年度卒 S・K

五十を過ぎましたがまだ保育士をしています。

昭和五十三年度卒 T・A

准看護師の免許をとって五年目になります。現在リハビリ病院で働いて充実した毎日を送っています。

昭和五十三年度卒 S・I

幼稚園勤務八年の経験と自らの育児経験を生かし。乳幼児を持つ親子教室をしています。今年で十五年目となりますが、親子の関係が随分変わってきているなど悩む場合が多くなっています。

中野区上高田にあった第一寮の同期生で昨年三十年ぶりの同

寮会をし、昔話でおおいに盛りあげられました。子育ても一段落したので毎年の再会を約束しています。

昭和五十四年度卒 I・T

末っ子が小四年になり、いつかは「お母さんが通った学校よ」と学園祭に連れて行きたいなと思ひ、この時期会報が来るのが楽しみです。

昭和五十六年度卒 F・Y

母、娘共に保育園で働いています。別々ではありますが夢のようです。

昭和五十七年度卒 S・S

長女が大一、長男中三になりました。学長講話でかつえ先生がおっしゃられた「立たされた場所に泉を掘れ！」をモットーに私も子育て等頑張っています。

昭和五十八年度卒 T・Y

参加出来なかつた同窓会便り皆笑顔で楽しそうですね。今度は参加出来るといいな。秋草学園六十年おめでとうございます！

昭和六十年度卒 K・M

渋谷区非常勤職員として、保育園に勤務しています。以前は練馬区で働き、退職してから年数がたちましたが、再度働くことができ資格をもっていてよかつたと思ひます。

昭和六十一年度卒 M・M

長女が幼児教育学科Ⅱ部に通っています。友人にも恵まれ、楽しい学校生活を送っているよう学生時代を懐かしく思っています。

昭和六十一年度卒 S・J

長女が高三になりました。お友達が秋短に行きたい！先輩が秋短入学した等嬉しい話を聞いています。

昭和六十二年度卒 S・K

会報を通じて学校の様子を知り、当時は懐かしく思い出しました。十歳の息子の子育てに日々忙しくしています。学生の頃よりたくましくなったかも！

平成元年度卒 Y・M

現在四十一歳、四児の母です。卒業後、田無、小平の幼稚園に就職し、七年間勤務しました。当時の教え子が、今秋草の幼児教育科に通っていると聞き、懐しく思い出しています。学園祭には是非行きたいです。

平成元年度卒 I・E

子育ても後わずか、新たな試みとして再度大学入学、そこで福田先生と一緒に、また福田先生の授業を受けることに。懐かしかったです。特別支援に勤

務し、二十年、毎日頑張っています。毎日が充実していて楽しいです。

平成九年度卒 O・E

マレーシア日本人学校に勤務しています。

平成九年度卒 O・H

今アフリカ(ガーナ)の国連で仕事をしております。

平成十三年度卒 K・K

地元の学童クラブに勤めています。相棒も秋草の先輩で、市内の学童クラブにも先輩がいて心強いです。

平成十三年度卒 M・K

私は、保育の仕事はしていませんが、私の母はいつも保育士です。秋草学園がまだ専門学校だったそうです。会報をなつかしそうに見ていました。

平成十四年度卒 I・M

現在医療事務の資格取得目指して勉強しております。

平成十六年度卒 I・A

今、保育園で働いています。秋草短大からの後輩がたくさん入っています。みんな頑張っていますよ。



秋草祭

第 23 回



10月2日

晴天に恵まれた学園祭当日、秋桜会はお休み処の「喫茶コーナー」と「手話による歌の実演コーナー」を設けて参加いたしました。会場には学園長の秋草かつえ先生がお元気にお立ち寄り下さり、同窓生一同懐かしく嬉しく再会のひとときを過ごす事が出来ました。手話は秋草学園福祉教育専門学校の手話サークルの賛助出演で、ご指導の柴先生と学生さんの熱演と誘導により童謡や懐メロ等を全員で楽しみました。



コスモス便り平成 23 年度年間スケジュール

- 5月 定例理事会
- 6月 総会 (6月18日)
- 7月 三役幹部理事会
- 8月 夏季休業 (1日~31日)
- 9月 理事会
- 10月 学園祭参加 (10月8日・9日)
- 12月 冬季休業 (26日~1月6日)
- 3月 三役幹部理事会



秋会 2010 年度
卒業記念品

アニマルエコバッグ



ペットボトルキャップ
を集めています!

校友会事務局は、学内 2 階、図書館前研究室に移転しております。学園にお越しの際は、エコキャップをご持参がてら是非お立ち寄りください。校友会では、エコキャップを集め **世界の子どもたちにワクチンを届ける運動** に賛同し協力しています。



- ① 校友会の庶務役員としてお手伝いが出来る方募集
 - ② 一般事務経験者パソコン必須 (年間ご登録頂ける方も) 若干名募集
- ①、② 共詳細は事務局まで電話またはメールでご連絡お待ちしております。

事務局よりお知らせとお願い

- 特定の卒業生から勧誘、面会の電話がかかってくるという苦情が事務局に入っております。校友会とは一切関わりがありませんのでご注意ください。
- 校友会は会員個人宛に、寄付の依頼をすることはありません。
- 同期会・クラス会開催を推進するため協力致します。お困りの時は、ご一報ください。
- 住所変更・氏名変更等は、事務局へご連絡ください。その際会員番号 (封筒に印字された番号) をご記入ください。
- 秋桜会 OG 部活募集!! バレーボール・卓球・バスケットボールなどクラブ活動を募集します。会から、助成金がありますので詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。
- 新事務局 山野、比江島 どうぞ宜しく。

《校友会アドレス》 kosumosu0402@akikusa.ac.jp
毎週水・木 11:00 ~ 17:00 在室